

南昌だより

2021
No. **43**
2021年12月1日発行

博愛荘 本誌P6



敬愛荘 本誌P14



志和荘 本誌P10



デイケア 本誌P8



悠和荘 本誌P11



悠和荘 本誌P11



若園荘 本誌P13



恒和荘 本誌P12



こずかたこども園 本誌P7



敬寿荘 本誌P8

医療法人社団 帰厚堂

【基本理念】

「愛と誠の精神」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される医療を提供するために
全ての専門職種による
チーム医療に万全を期します

社会福祉法人 敬愛会

【基本理念】

「地域と共に生き 地域と共に歩む」

私たちは、
すべての人に感謝の気持ちをもって
奉仕いたします
また、
信頼される福祉サービスを提供するために
全ての専門職種による
チームケアに万全を期し
その人らしい生活が育まれるよう
支援します

2021
No. **43**
Contents

- 2P…… 職場紹介
- 2P…… スタッフ紹介
- 3P~4P …… リハビリテーション その13
- 5P~9P …… ケアセンター南昌

- 10P…… 志和荘
- 11P…… 悠和荘
- 12P…… 恒和荘
- 13P…… 若園荘

- 14P…… 敬愛荘
- 15P…… 南昌病院
- 16P…… 診療案内



医療法人社団 帰厚堂
<https://kikodo.or.jp/>

社会福祉法人 敬愛会
<http://www.shiwasou.jp/>



日本医療機能評価機構

職場紹介

多くの専門職で支援 地域交流に力 = 志和荘 =

今回は、特別養護老人ホーム志和荘をご紹介します！『特別養護老人ホーム』とは、常時介護を必要とし、在宅での生活が困難な高齢者に対して入浴・排泄・食事などの日常全般の介護、健康管理等を行なう施設です。志和荘では、本人・家族の希望を取り入れながら、入居者の目線で寄り添った暖かい介護サービスを心掛けています。

開設年月日は昭和59年4月1日。現在の場所に平成15年7月10日に新築移転しました。全室個室のユニットケアで、定員は97名。1ユニット9～10室の10ユニットとなっています。

利用している方の現在の平均年齢は87歳8か月、平均介護度は4.3です。

職員は、介護福祉士46名、介護士8名、介護補助2名、看護師4名。施設長1名、事務長1名、理学療法士1名、歯科衛生士1名、管理栄養士2名、生活相談員2名、介護支援専門員2名、事務主事3名の合計73名です。

現在は感染症対策のため行事は規模縮小や中止と

なっていますが、通常は運動会や輪投げ大会などたくさんの方の行事や慰問があります。月1で音楽療法や「なごみ茶屋」、入居者懇談会なども行なっています。『わくわくクラブ』では、ドライブに出掛けたり、皆でゲームをしたり、散歩に出たりとワクワク楽しい活動をしています。その他管理栄養士が各ユニットに入って行なう『調理レク』も好評です。

入居いただいている方が、お元気で穏やかに生活する事が出来るようチームケアに万全を期します。

最後になりましたが、今後とも特別養護老人ホーム志和荘をよろしくお願ひいたします。



スタッフ紹介

言語聴覚士 ～患者さまの良き理解者であること～

はじめまして。南昌病院リハビリテーション科、言語聴覚士の菊地彩音と申します。私は福島県出身で、会津若松市の病院に2年間勤めました。会津若松市は戊辰戦争で有名になった会津若松城や白虎隊自刃の地である飯盛山等、歴史がある城下町です。食べ物はソースカツ丼や、喜多方ラーメン、馬刺しが有名です。ご縁があり今年の2月に南昌病院に入職しました。最初に感じた岩手県の印象は穏やかな県民性、人柄の良さを実感しました。恵まれた職場環境で新転地での生活にも慣れてきた所です。

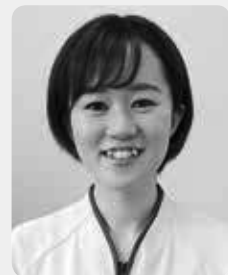
言語聴覚士とは、言語障害（話す、聞く、読む、書く）、音声障害（声を出す）、摂食嚥下障害（食べる）といった言葉によるコミュニケーションや飲み込みが難しい方を対象に、自分らしい社会生活を送れるように支援をする仕事です。患者さんの症状や状態、生活歴は多種多様なため、一人ひとりの退院後の生活をイメージしながら日々の臨床に携わっています。

その中で私が心がけていることは、患者さんの良き理解者であることです。言葉によるコミュニケーションに難しさがある方は誰もが孤独感を抱えていると思います。それでも表情やジェスチャー、指さし等を交えて相手の伝えたいことを汲み取る事はできます。また、興味のあることや趣味等の話題を向けることで言葉が出やすくな

る事があります。このように、一人ひとりに合ったコミュニケーションの形を考え、伝わる成功体験と一緒に喜べる療法士でありたいと思っています。また、それを家族や介護者へ伝える事も重要な役割の1つと考えています。

摂食嚥下障害の方への関わりでは口から食べる事が難しい方に対して、姿勢や嚥下機能だけではなく、疾患の特徴や病前の生活も踏まえて評価し、様々な視点から「どうしたら再び食べる事ができるか」を考える必要があると感じています。

私達、言語聴覚士が携わる「言葉」や「食事」は人が人らしく生活するための最たるものであると日々感じています。悩むことも多々ありますが、言葉が全く出なかった患者さんからの「ありがとう」の言葉や、口から食べる事が難しかった方が自力で食事が摂れたその喜びを共有できるこの職業に誇りとやりがいを感じています。これからも患者さんの良き理解者として、ともに喜べる療法士であるように日々支援していきたいと思っています。



南昌病院
リハビリテーション科
言語聴覚士
菊地 彩音



正しく知っておいしく食べましょう

～嚥下機能を高め、維持するための体操と生活の中で心がけることについて～

前回は、嚥下機能に合わせた調理方法の工夫について解説し、食事に支障が出ても食事の形状を工夫することによって対応できることをお話しました。今回は、嚥下機能を高めたり維持するための簡単にできる体操や、日常生活でできることをご紹介します。



嚥下体操

筋肉は使わないと衰え、一度低下した嚥下機能はなかなか元に戻らないので早期発見と早期対応で進行を遅らせることが重要です。誤嚥は食事の際の一口目に起こりやすいので食べる前に行うと予防効果があります。嚥下体操はゆっくり動かすことや、筋肉を伸ばすことを意識しましょう。

1.呼吸筋、咳の強化

咳が弱いと、食べ物や飲み物が気管に入った時に外に出せず、肺まで落ちていってしまいます。気管に入った食べ物が大きいと窒息の原因になることもあるため強い咳を出せるようにしましょう。

- ① 鼻から息を吸い、口を細めて長く吐いていく。
(口すぼめ呼吸)



- ② 大きく息を吸って咳払いをする。



2.首の体操

首の中に嚥下に必要な筋肉があります。首が回らなくなってしまうと、のどの筋肉も動きにくくなってしまいます。首をまわす際はめまいが起こることがあるので注意して行いましょう。

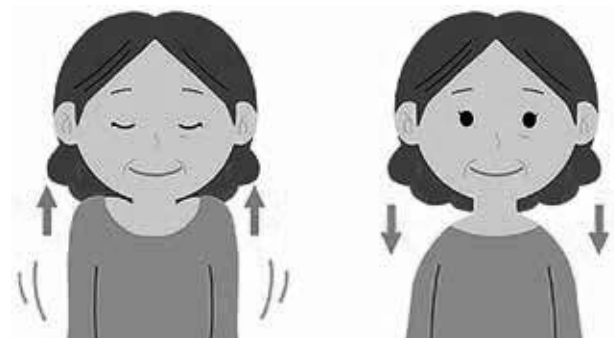
- ① 首をゆっくりまわす
- ② 左右に傾ける
- ③ 前、後ろに倒す
- ④ 右、左を向く



3.肩の運動

肩にはのどとつながっている筋肉があり、肩が動くようになると飲み込みやすくなります。

- ① 肩をゆっくりあげていき、すっと力を抜いて下ろす。



4. 頬・口唇の運動

頬や口唇が動きにくくなると、食べこぼしが増えたり咀嚼がしにくくなります。

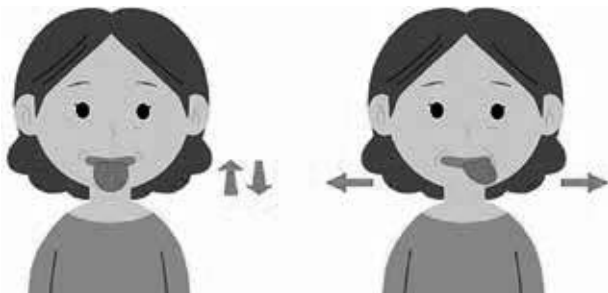
- ① 口を膨らませたりすぼめたりする



5. 舌の運動

舌を、口の中の天井に強くあてることで、食べ物をのどに送り込んだり、「ごっくん」と飲み込むことができます。また舌を使って食べ物を奥歯に乗せて噛み砕くことをしています。舌が動きにくくなるとそれができなくなり、誤嚥してしまったりのどに送り込めず結果的に食事に時間がかかるようになります。

- ① 舌を前に出す・引っ込める
- ② 舌で左右の口角に触れる
- ③ 舌で左右の頬を押す
- ④ 前歯の表面に触れる
- ⑤ 奥歯に触れる



6. 発音練習

発音することにより口唇や舌、のどを鍛えることができます。

- ① 「パパパパ…」と1音1音はっきり発音する。
- ② 同じように「ララララ…」「カカカカ…」「パラカ…」と発音する。



【日常生活でできること】

1. 口腔内を清潔に保つ

歯磨き（口腔ケア）をしないと細菌が増え、それが肺に入ると肺炎を起こしやすくなります。肺炎を予防するだけでなく、歯、歯肉、頬や舌のマッサージ効果もあり筋肉への刺激や唾液分泌に良い影響があります。

2. 歯を大事にする

歯は食べるために重要なものです。歯がなくなると食べるものが制限されたり食べる量が減ってしまいます。毎日の口腔ケアや定期的な歯科受診をしましょう。入れ歯の洗浄や、適合を保つように管理することも大切です。

多くの方に摂食嚥下障害を知っていただくために3回に分けて連載してきました。誤嚥性肺炎が原因で寝たきりになることや死亡することもあります。誤嚥性肺炎を起こさないように嚥下機能を維持して、いつまでもおいしく食事をしていきましょう。

(文責：南昌病院 言語聴覚士 稲澤靖文)

参考資料

- 1) 岩手県シルバーリハビリ体操指導者養成講習会テキスト
- 2) 日本摂食嚥下リハビリテーション学会訓練法のまとめ(2014版)

一人ひとりに合った支援 リハビリテーション

専門スタッフがチームを組んで集中的にリハビリを実施

365日リハビリテーション提供!! (回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病床)

●南昌病院 ●敬愛荘 ●博愛荘 ●訪問リハビリテーションこずかた……

リハスタッフ総勢83名(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)、(ほかに公認心理士(臨床心理士))

各施設から

ケアセンター南昌での主な取り組み

【職員研修会】(ケアセンター南昌)

◎10/20 「交通安全講習会」

ケアセンター南昌職員研修会として、紫波警察署交通課より講師をお招きし、交通安全講習会を開催しました。

事故は身近なものであり、日頃の業務においても車の運転が不可欠な事から、大変有意義な研修となりました。

講習は映像を見ながら、危険な状況を予測するという進め方により、様々な**カモ運転**を考える機会となりました。自らが安全運転を心掛けるのは当たり前でも、対向車が突っ込んでくる**カモ**しれない、人が飛び出してくる**カモ**しれないなど、常に周りに気を配って運転する事への意識づけがなされた事と思います。

利用者の送迎にかかわる職員はもちろんのこと、通勤に車を使用している職員も、今回の講習で学んだことを実践し事故を起こさない、事故にまきこまれない運転を心掛けて参ります。



【誘導看板新設】(ケアセンター南昌)

10月19日、矢巾町の県道120号線にケアセンター南昌の誘導看板が設置されました。

ケアセンター南昌は矢幅駅の西口を出たらすぐの場所に立地しておりますが、まだまだ西口付近に詳しくない方も多い様です。特に、県道120号不動盛岡線を利用する方にとっては、この誘導看板で曲り所がはっきりし、通り過ぎてしまう事が減少すると思います。

ケアセンター南昌をご利用の方はもちろんの事、矢幅駅西口近辺に御用の方は、ケアセンター南昌の建物を遠目に見ながら進んでいただき、曲り場所は誘導看板を目印にいただくと、初めての方もわかりやすいです。

安全運転でお越しください。



【岩手女子高等学校創立百周年】(ケアセンター南昌)

11月3日、岩手女子高等学校の創立百周年記念式典に、医療法人社団 帰厚堂介護老人保健施設博愛荘としてご招待いただきました。

創立百周年、誠にありがとうございます。今後も益々のご発展を願っております。

ケアセンター南昌にも岩手女子高等学校の卒業生が多数ご活躍されております。

介護実習の場の提供と、その指導を通じて、お互いに介護の質を高めたい事ができれば幸いに思います。

【ドライブ】(博愛荘)

4月、キャラホール・城山公園にお花見ドライブに出かけました。久しぶりの外出。「いい気分転換になった」「外は気持ちがいいね」などの声があふれました。桜も利用者の笑顔も満開のお花見となりました。



10月、城山公園・紫波のかかし祭りに紅葉狩りに出かけました。

残念ながら時期が少し早く、キレイな紅葉は見る事が出来ませんでした。中には4月のお花見ドライブ以来の外出だった方もおり、久々の外出に喜ばれていました。



【夏祭り】(博愛荘)

今年の夏祭りは、去年と同様に各階のホールにて開催する事になりました。

屋台は水鉄砲ゲーム・景品釣り・わたあめ・ドリンクコーナーなどを準備しました。

利用者からは「すごくよかった」「楽しかったよ」などと皆さん喜ばれ楽しまれたようでした。

来年は博愛荘全体、ケアセンター全体での行事が開催され、より一層楽しめるようになればいいと思います。



【棒体操】(ショートステイやば)

9月より始めた「棒を使用しての体操」を紹介します。曲に合わせて自然に身体が動き出すようなオリジナルの体操を作ろう！と担当職員皆で考案しました。

曲選びに苦戦しましたが、山形県の民謡「花笠音頭」の「ヤッショ マカショ シャンシャンシャン」の合いの手の部分を大きな声で唄って盛り上げてくれる利用者さんがいらっしたことから曲が決定しました。

振付けも皆で考え、棒も手作りです。毎日、笛や太鼓の音の明るい曲調に合わせて楽しく身体を動かしながら体操を行っています。

「なんだ、今日は棒を振り回すのか。」などの声も聞かれますが、前奏が始まると空気が一変、真剣に取り組もうとされる利用者さんの姿がみられています。今では毎日のレクリエーションの始まりの体操としてすっかり定着しています。

「腕を使っているいろいろな動きをするので結構疲れる。でも良いですよ。」「音楽が賑やかで楽しい。間違ったりもするけど、いい運動になってると思います。」との声。

これからもショートステイ独自の取り組みを続け、利用者の方に喜ばれるレクリエーションを目指していきます。



【ハロウィン】(こずかたこども園)

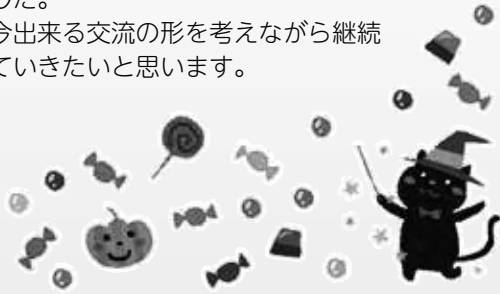
各クラス手作りの衣装で仮装をしました。

こずかたケアプランセンターの管理者が扮した魔女が、優しいまなざしで子どもたちのお話に耳を傾けて下さり、用意したお菓子をプレゼントしてくれました。

今年も感染症対策の為、なかなか幼老交流ができない中ではありますが、お手紙の交換やプレゼントの交換を通し、心の交流をしてきました。

ハロウィンパーティについては、ご案内をせずにいましたが各部署からたくさんのサプライズのお菓子のプレゼントがあり、心もお腹もほっこり満たされた1日になりました。

今出来る交流の形を考えながら継続していきたいと思えます。



【運動会】(こずかたこども園)

今年の運動会は感染症対策の為、9月15日(水)と18日(土)の2日間に分けて行いました。

0~4歳児は15日に西口公園で運動会ごっこ、5歳児は18日に矢巾町民総合体育館で保護者の方と一緒に行いました。

各クラスとも、子どもたちの成長を職員皆で感じながら、たくさんの笑いあり、ちょっぴり涙あり?!の楽しい時間を過ごし、5歳児はオリンピックにちなみ「カイト」の曲に合わせた演技や、力の入った親子リレー!!転倒しても立ち上がり、抜きつ抜かれつの姿に大きな拍手が湧き上がりました。

来年こそは、たくさんの応援の中で行えることを願います。



【こずかたこども園よりお手紙が届きました】(デイケア)



園児より、お手紙が届き返事を書いています。「こんなに小さくてもちゃんと字書けるんだね～」と感心したり、「うちの孫は元気であるかな…」と思い出したり、「もらったお手紙にはちゃんとお返事しないと!」と張り切ったり。

ハロウィンの日にもお手紙を持って遊びに来てくれました。「お菓子あげたから来年も来てくれると良いなあ～」と期待しています。

SNSやインターネットが普及する中、お手紙交換はとても新鮮な気持ちで過ごせたり懐かしく嬉しく思う利用者が多いようです☆

直接の交流が難しい時でもこども達と交流する事が出来るのはすごく良いと思えました!

お手紙をくれた園児や先生方に感謝しています。

【夏祭り】(敬寿荘)

南昌ホールで夏祭りを開催しました。外出の機会も作れず荘内に籠りがちでしたが、体操やボール遊び、紐引きクジなど、広いホールでそれぞれ動かせる範囲で身体を動かして気分転換を図りました。

まだまだ自由に外出することは出来ませんが感染予防に気をつけ身体を動かす機会を作っていきたいと思えます。



【幼老交流】(デイサービスつむぎ)

今回は、こずかたこども園との交流について紹介します。

利用者が朝、ケアセンターに到着しエレベーターで2階に行くと、まず目にするのは子供達の姿…

お母さんと離れたくなくて泣いている子、笑顔で先生に抱き付く子、そんな姿を利用者は目にします。「あんや～可愛いこと～」とほほが緩み、笑顔でデイサービスの利用開始になります。

新型コロナウイルス感染予防の為、子供達との交流も減る中、こども園の先生方が色々工夫してくれ、利用者は子供達との交流を楽しむ事が出来ました。

「子供たちにプレゼントしたいので、準備手伝ってもらえませんか?」と頼むと、作品を作ったり…お菓子を袋に詰める作業をしたり…お手紙を書いたり…とそれぞれ喜んで、自分に出来る事を一所懸命行ってくれます。【子供たちの喜ぶ顔を見たい】という目標を持つ事で、普段あまり手が進まない利用者も作業が進みます。

日常の支援でも、目標を持ってもらうことの大切さを感じています。認知症対応型のデイサービスつむぎでは、日々個別にあった支援法を考え対応させて頂いています。



【化粧とおしゃれで健康に!!】(デイケア)

デイケアでは、毎年お誕生日に写真を撮影し、色紙のプレゼントを差し上げています。

10月より希望者にお化粧をして写真撮影する事になりました♡♡♡

メイクを下さるのはデイケアをご利用されている直子さんです! 矢巾町民劇場のスタッフとしてメイクを担当され長年ご活躍されました。

メイク+スカーフや小物を使用しておしゃれに、そしてより綺麗になるように考えて下さっています。直子さんより「新しい企画が出来て良かったし、皆さんに喜んでいただけて良かったです!」と、コメントをいただきました☆

いくつになってもお化粧は魔法のようで生き生きしますね♡

実際にお化粧した方々は「しばらくお化粧してなかったから、すごく嬉しかった」「綺麗になったから、どんな写真載せても良いよ!」「気持ちもテンションも上がって良かった♪」と、笑顔でお話していただきました。

お化粧をする事で気持ちも前向きになり、リハビリへの意欲や外に出ることへの楽しさにもつながります。隣で見ている職員も自然と笑顔になり素敵な時間になっています。女性に限らず男性もぜひ、おしゃれを楽しむのも良いですね☆



【夏祭り 初!揃いました!太鼓・唄・踊り】(デイケア)

デイケアの職員は…

★ 浴衣の着付けが出来る ★ さんさ太鼓が叩ける ★ 唄が歌える ★ 踊りが踊れる(?)

昨年はコロナ禍により大きく縮小した夏祭りでした。色々制限がある中で皆で楽しめる活動をしたという思いから今年は職員全員が浴衣に着替えて夏祭りを開催しました。

今年の夏祭りは太鼓・唄・踊りを職員で披露しました☆

太鼓も唄も踊りも職員だけで開催出来たのは初めてです☆

利用者も職員の浴衣姿を笑顔で見てくださり、さんさ踊りには手拍子やアンコールまでいただきました!!

「太鼓の音が聞けてよかった!」「今年は唄もあり迫力と楽しさが増した!」等お声をいただきました。

来年の夏祭りには踊りのスキルアップを目指して…今年のように開催出来ればと思います!!



志和荘

施設紹介

特別養護老人ホーム：常に介護が必要で自宅では介護ができない方が対象の施設です。

.....【わくわくクラブ】.....

わくわくクラブでは、名前の通り、ワクワク・楽しい事を企画・実施します。ドライブやゲーム、外気浴などのレクリエーションを行ないます。コロナ禍でもあり、外出する機会はほとんどありませんでしたが、皆で車に乗ってひまわり畑や医大が出来てすっかり変わった町の様子などを車窓に眺め、とても喜ばれていました。「うわ〜、見事！」とひまわり畑に感動し、すっかり変わった町の様子に「え〜！ずいぶん都会になったな〜。田だの畑だのしかなかったのに〜。」と驚かされている方もいました。

風船バレーや輪投げなどのゲームや外気浴も楽しまれ、笑顔でいっぱいです。今後も皆さんに喜んでいただけるような活動を企画していきたいと思えます。



.....【調理レク By管理栄養士】.....



管理栄養士2名が中心となり、調理レクを行なっています。入居し、なかなか外に出る事ができない方の生活のハリの一つになればと思い実施しています。また、給食で出せないものやなじみのある物、「これが食べたい！」というリクエストに応え、食思向上を目指しています。歳を取り食が細くなってしまった方も、自分の好物や懐かしいものはビックリするほど召し上がる時があります。ある方に「何か食べたい物はありませんか？」「ラーメンは？」「カレーライスは？」といくつか例を挙げて聞きましたが、「う〜ん」と首を傾げるだけでした。「カツ丼は？」と聞くと笑顔で大きく頷いたため、次回の調理レクは『カツ丼パーティー』に決定しました。職員が目の前でカツ丼を作る様子を嬉しそうに見ていました。カツ丼が完成すると、皆と一緒にニコニコしながら、丼ぶり一杯残さず召し上がり、とても満足そうでした。



その他、お好み焼き、手作りパン、どら焼き、スイートポテト、水ようかん、ケーキ、鍋料理、居酒屋開店など、どんなリクエストにも応えます！

“食”を通じて皆さんと楽しく過ごしていきたいです。



.....【敬老会】.....



9月16日(木)、敬老会を開催しました。コロナ禍のため昨年同様、入居者の皆さんと職員のみでの開催となりました。感染症対策のため密を避け、1階と2階の入居者が交わる事のないよう行ないました。

今年の表彰者は100歳以上のご長寿は3名、今年100歳になられた方は1名。米寿を迎えた方は5名でした。

高橋矢巾町長より録画でのお祝いのメッセージを頂き、入居者の皆さんはじっくりと聞き入っていました。

昼食はユニット毎に豪華な『敬老弁当』を召し上がりお祝いをしました。

入居されている皆様方の健康とますますのご長寿をお祈り申し上げます。



.....【文化祭】.....



10月28日(木)、南昌福祉の里文化祭を開催しました。敬老会同様、感染症対策をしながら行ないました。

今年度のテーマは『HOME(家)』です。皆でゆっくり、のんびり楽しもうという思いで文化祭を開催し、ステージイベント(1階)は劇団男組による『大岡越前』。大立ち回りと人情裁きとお色気(?)の抱腹絶倒の時代劇です。ステージ後は役者さん達と記念撮影を行い、満足そうでした。

ステージイベント(2階)は、『けん玉大会』。各ユニット1名ずつ選出しガチンコで戦いました！「昔取った杵柄」とばかりに皆さん生き生きと戦い、他の方々も「頑張れ〜、頑張れ〜」と応援していました。職員も各ユニットと医務から代表者が出て戦い、大盛り上がりでした！

入居者と職員の作品展示コーナーでは、日頃頑張って作っている作品が所狭しと並び、『HOME(家)』をテーマに心温まる文化祭となりました。



お花見と行楽弁当を楽しむ春の行事は晴天！

晴天の気持ちの良い日に、お花見&春の食事会を行いました。悠和荘にある花壇には毎年満開の桜が咲き、入居者の皆さんのお部屋からも窓越しに見ることができます。春の訪れを感じる桜をみんなで見学し美味しいお弁当をいただきました。みなさん庭に出た途端「今年もきれいに咲いたね～」と桜の美しさに負けない満面の笑顔でした！



夏の定番！スイカ割り皆さん奮闘しました！

今年は感染対応のため各ユニットで行いました。とても大きなスイカで「初めて見た！！」と皆さん驚き、あまりの大きさでなかなか割れず、職員も挑戦しましたが割れませんでした…。でも、美味しいスイカで皆さん喜び、悠和荘の畑で収穫したトウモロコシもおいしく頂きました。



土砂災害を想定した移送訓練を行いました！

矢巾町からの「警戒レベル3」高齢者避難開始を受けて指定避難所の志和荘3階地域交流センターまで避難する想定での防災訓練を行いました。

今回は車両1台につき職員2名を配置して入居者3名を移送及び乗降させた場合にかかる搬送時間を検証しました。検証結果をもとに37名満床時には車輦2台で約2時間かかることがわかりました。



皮むきは任せて！今年の柿も豊作です！

駐車場わきの柿の木に今年も大きな柿がたくさん実りました。入居者の皆さんの手助けもあり、頑張って皮をむき、干し柿を作りました。紐に吊るしてあとは出来上がりを待つのみです。どんな仕上がりになるのか、いつできるのかとても楽しみです。今年の柿も甘くておいしくなることを期待して毎日ながめに来ています！



収穫祭で秋の味覚を楽しみました！

気持ちのいい秋晴れの中、収穫祭が行われました。恒例となった焼き芋のためには先ずは芋掘りです。少々小ぶりかと思わせるとして立派な芋が出現！今年も芋が採れました。お昼には海鮮丼、デザートバイキング、悠和荘産小豆を使ったお汁粉とまさにお祭りです。いいお天気と皆さんの笑顔と満腹感で身も心もほっころい一日でした。



恒和荘

施設紹介

小規模多機能型居宅介護事業所：小規模な住宅型の施設で、通いのほか、訪問、短期間の宿泊などを組み合わせて食事、入浴などの介護や支援が受けられる施設です。盛岡市在住者が対象です。

健寿を祝う会



9月20日、恒和荘の敬老の日の行事である「健寿を祝う会」が盛大に行われました。今年も新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から地域の方々は参加されず、職員が主体となって開催しました。

今年は、卒寿者2名と米寿者1名に花束を贈呈してお祝いし、利用者全員に記念品を贈りました。職員の余興では、職員手作りの寸劇「足柄山の金次郎」を披露し、アドリブ満載のセリフなどで会場全体が笑いに包まれて和んだ雰囲気になりました。

昼食は、皆さんでお寿司やデザートを頂き、どの利用者も美味しいと話されていました。

午後からのゲーム大会では、「箱の中身は何でしょう」という箱の中身を触って何かを当てるゲームで、野菜や調理器具など様々な物を悪戦苦闘しながら当てていました。次にイントロクイズで、職員が鼻歌を唄って何の曲かを当ててもらい、童謡や演歌など皆さん割と簡単に当てていました。2つのゲームも、大変盛り上がり良かったです。

来年は、コロナが収まり、また地域の方々に参加して頂いて盛大に行えるようになれば良いと思います。



紅葉バスハイク

10月下旬、紅葉ドライブに行きました。紅葉は少し早かったですが、小岩井周辺や御所湖へドライブし季節の移り替わりを感じました。昼食は弁当を発注していた弁当を町場地区園地にて頂きました。あいにくの雨でしたが、眺望も良く久しぶりの外出を満喫出来ました。



夏祭り

新型コロナの影響で去年は開催出来なかった夏祭り。例年は、町内会と合同で開催していましたが、今年は利用者と職員でゲームを楽しみました。

お菓子輪投げでは、上手く輪がお菓子に入った時は拍手が上がっていました。スイカ割りでは、目隠しをした挑戦者に「右、左、そこだ!」と大きな声が飛び交っていました。チーム対抗風船バレーでは、手だけでなく足で打ち返し、白熱した戦いとなりました。

例年のような盛大な行事ではありませんでしたが、利用者の笑顔が見れてホッとしました。



コロナ禍でも安全に取り組める1分間の防災訓練

盛岡市シェイクアウト(地震の揺れに備える)2021に参加

9月1日防災の日の午前11時からいわてモバイルメールの合図で6名利用者が参加して下さいました。

「まず姿勢を低くする」「頭を守る」「動かない」という3つの安全確保行動をとるという訓練でした。普段取らない姿勢や行動でしたが、皆さんすぐ近くのテーブルの下に入り身を守って下さいました。テーブルの下に入れない人は、ヘルメットを被って「地震だ〜」という時の備えを意識して下さいました。



岩手県認知症介護実践者研修

当研修は、昨年新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、岩手県内、福祉関係者を中心とした78名で、今年度の第2期が行われました。7月12日から16日までの5日間の研修、その後の自施設実習(4週間)、8月予定が岩手県独自の緊急事態宣言により、10月22日へと延期となったため研修まで、通常とは違う流れでの参加・実施となりました。この研修を通して見ての個人的な感想としましては、5日間の研修を踏まえて、1人の対象者に対して、気持ちの安定(波がある方)を図る事を考えて、下肢の浮腫み(車椅子使用時間の減少)改善や昼夜逆転対策(夜間の安眠に繋げる)として、好きな作業に積極的に手伝ってもらいました。いずれの項目も、自施設実習期間内で多少なりとも変化が見られ、指導者から好印象だったと評価を頂きました。今後に繋げて行きたいと考えます。(工藤)

夏祭り



今年も各フロアでの夏祭りとなりました。さんさ踊り、スイカ割り、もぐらたたき、魚釣り、ダーツなど利用者が参加できるものを考え準備しました。スイカ割りでは自ら「やりたい。」と手を上げる利用者もいて一発目でスイカが割れると大盛り上がりでした。おやつは皆でスイカと焼きトウモロコシを美味しいねと言って頂きました。利用者の大きな笑い声が響きわたり、少人数でしたが楽しんで頂けたご様子でした。来年は合同で出来ることを願っています。



敬老会



令和3度の若園荘敬老会が9月21日（火）に開催されました。コロナ禍の中での開催ということもあり昨年同様、ご家族の来訪はやむなく中止とし、各階でお祝いをさせて頂きました。事前にご家族よりお預かりしたお祝いメッセージ入りの感謝状を贈呈しささやかなプレゼントとしてタオルをお贈りいたしました。皆さん、大変喜ばれていました。余興として利用者と職員で「炭鉱節」を踊って楽し



しました。手拍子される方や掛け声が飛んだり皆さんと大いに盛り上げました。短い時間ではありましたがとても和やかな会となりました。来年こそはご家族と一緒に敬老会をお祝いできる年になるといいですね！

紅葉を見にドライブへ行こう！

10月29日、紅葉ドライブが行われました。天気にも恵まれ晴天の中、小岩井農場や御所湖へ行ってきました。紅葉も丁度よく赤や黄色に染

まったもみじをバックに利用者皆で一緒に写真撮影をすることもでき、御所湖では足湯にも浸かって良い気分転換が出来ました。利用者の反応や表情から終始楽しまれている様子が見れて、私たち職員も利用者と一緒に楽しい時間を過ごすことが出来ました。次回は、桜が満開の春にでもドライブに行きたいですね！



認知症介護基礎研修eラーニングシステムに参加しました。

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症の病状の違いや認知症の症状には中核症状と行動・心理症状（BPSD）が現れるという事を念頭に日々の現場でのケアを顧みて不適切なケアは認知症の方にストレスを与えてしまいBPSDの悪化を招いてしまうこと、介護者の負担が増えるといった悪循環に繋がるということを再認識しました。認知症の方への接し方も病気だからもう何もかも分からない、出来ないと決めつけず出来る所を見つけ活かしていけるケアを心掛けていきたいと思いました。

また、認知症の方の言動や行動には意味があり先ず否定するのではなく視線を合わせ、声のトーンを考えその人の気持ちになり寄り添う姿勢が大切だと思いました。

認知症1人1人にその方の生きてきた歴史があり尊重する気持ちを大切に個性を活かし利用者様が生き生きとできる環境をチームで作っていきたく思います。

この度は有意義な研修を通し様々な学びと気づきがあり誠に有難うございました。

（若園荘 太田）

令和3年度認知症介護実践者研修に参加しました。

この度、認知症介護実践者研修に参加したことで認知症についてもう一度考え、見つめ直す大切な時間を頂けたと感じている。日々、目の前の事象に対応する事に精一杯で業務優先のケアになっていたことに気づき、利用者の気持ちに寄り添い、受け止めることの大切さを忘れていたように感じた。利用者との関わり方においても、その方の立場に立って考えることの重要性を再認識することができた。また、自施設実習を通して介護者にとっては理解し難い言動や行動にも意味があること、一人一人の利用者にとって、役割を持つことが生きがいとなり、問題行動の軽減に繋が

ることを周知し今後の支援体制に組み入れていきたい。

利用者の思いを引き出し、共感して理解することや、ケアの統一に向けて他職員と情報を共有し意見を重ねることで、より良い支援ができるということを念頭にチームケアの意義をこれからも大切にしていきたいと考える。本研修で学んだことを自分だけでなく組織で共有していくことで、利用者、家族にこの施設で良かった、この人に出会えて良かった、と思って頂ける様な居場所づくりを目指し、今後も認知症ケアに携わっていきたく思う。

（若園荘 西野）

敬愛荘

施設紹介

介護老人保健施設：病状が安定し、リハビリに重点をおいた介護が必要な方が対象の施設です。入所等の相談は気兼ねなく支援相談員までご連絡ください。

不來方高校音楽部・屋外コンサート

今年も感染対策の為、屋外でのコンサートとなりました。年に一度、利用者の皆さんや職員も心待ちにしてこの日を迎えました。混声合唱による心を打つ歌声が、屋外でも響き渡っており、色々な曲を聴いて涙を流される方もいらっしゃいました。また、力強い太鼓とともに盛岡さんさ踊りが行われ、「サッコラーチョイワヤッセ」と掛け声で参加する方も見受けられました。職員も参加したさんさ踊りは、高校生の皆さんと一体となり大変盛り上がりました。不來方高校音楽部の皆さん、素敵な歌声をありがとうございます。来年も宜しくお願いします。



アニマルセラピー

敬愛荘初!? アニマルセラピーを行いました。外部からは呼べないということで、職員が飼っている子犬2匹を連れてきて、利用者と一緒に触れ合いました。犬が嫌いな方もいらっしゃいましたが、実際に大人しい子犬を目にすると笑顔も見られ、殆どの方が「めんけーな。」とふれあいを楽しんで、目を輝かせていました。



文化祭



例年なら作品展示やバザー、食事を楽しみにしている方も多いですが、今年も感染対策の為、規模を縮小し行いました。しかし、職員も工夫して利用者楽しんで貰えるように考えました。寒くなってきたこともあり、リクエストに多くあった、ひつまみ作り、ケーキバイキングを行いました。利用者も参加し材料を切ってもらったり、小麦粉をこねるところは男性の力の見せ所でした。大鍋で煮るところは職員や学生が総出で愛情を込めてちぎりました。昼食にはお振る舞いをし、皆様「美味しい」と食べている姿が見られました。おやつの中にはケーキバイキングでかなり悩まれ、楽しみに選ぶ姿も見られ、これもまた美味しそうに食べて過ごされていました。



施設での生活 ～ある日の風景～

毎月開催の調理レク。最近は人参ゼリー、餃子、たこ焼きなど様々な事に取り組みました。また、畑で育成から始めた野菜で漬物も作りました。食材の皮をむいたり、包丁を使用する場面も手馴れた様子でした。協力して作る料理は、格別で「美味しい、美味しい」と笑顔で食べられてました。次回の調理レクも楽しみです。



規模を縮小して開催した夕涼み会。アイスやフルーツポンチを「冷たくて美味しいね」と召し上がってました。職員が着物や甚平姿に着飾ってさんさ踊りも催されました。皆さん、手踊りや手拍子で楽しまれて、盛り上がりました。また、涙ぐむ方も見受けられました。



～特定行為教育課程を修了して～

医療療養型A病棟 看護師 昆野 未穂

私は、南昌病院に平成26年に入职し、現在は医療療養型A病棟で勤務し、3年目になります。令和2年度に、岩手医科大学付属病院高度看護研修センターで実施している、特定行為教育課程を1年間受講し、創傷管理関連（壊死組織の除去・陰圧閉鎖療法）・ろう孔管理関連（胃ろう交換・膀胱ろう交換）の区分を修了しました。

特定行為に係る看護師の研修制度は、チーム医療を推進し、看護師役割拡大のため、平成27年より開始された研修制度です。特定行為は診療の補助業務で、現在は21区分38行為あります。修了した看護師は、医師からの手順書に則り、特定行為実施の指示を受け、患者の状態を見極め実施可能か判断し特定行為を実践します。

患者の一番近くで寄り添うことができる看護師だからこそ、生活者の視点で病状の変化を観察する事、そして経過や現状のアセスメントをより深く行い、迅速かつ適切なタイミングで特定行為を実施することを目標としています。

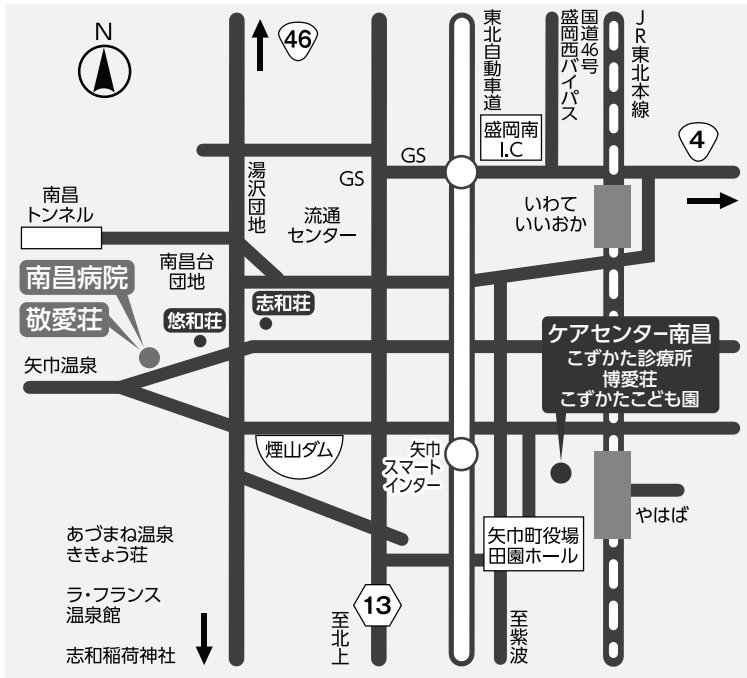


現在は、特に胃ろう交換の分野で、当院の医師にご指導いただきながら、経験を積んでいます。また、日々の胃ろうの管理として、挿入部に皮膚障害は無いかな、栄養剤注入後に下痢を来していないかな等観察を行っています。病棟には、口から食べることができなくなり、胃ろうからの栄養補給となっている患者がいらっしゃいますので、安全に栄養補給が維持できるよう、定期的な交換、日々のケアに携わっていきたいと思います。



PEG交換の様子

矢巾町エリア



盛岡市エリア



南昌病院診療案内

診療時間/9:15~17:00

月	脳神経内科 佐藤 典子	循環器内科 三浦 秀悦
火	内科 小原 進	循環器内科 三浦 秀悦
水	循環器内科 西城 精一	脳神経外科 木戸口 順
木	循環器内科 市川 隆	
金	脳神経外科 木戸口 順	

こずかた診療所診療案内

診療時間/9:00~17:00 (午前/外来診療 午後/訪問診療)

月・水~金	内科 藤島 行輝
火 (午前)	内科 肥田 彦彦
第2火 (午前) ※予約制	脳神経内科 石塚 直樹
第4金 (午前) ※予約制	脳神経内科 高橋 純子

休診日: 土曜・日曜・祝日

編集後記

◆新型コロナウイルス感染症新規陽性者の数が減少し安堵しております。この間約2年近く入院患者さん、入所者さん、ご家族の皆さんには面会制限等で大変なご心配ご不便をおかけいたしました。皆様のご協力により入院患者さん、入所者さんで新型コロナに感染した方はありませんでした。新規陽性者の方が減少したことから条件を付してですが面会制限を緩和しております。面会を希望されるご家族の方は予約のお電話をお願いいたします。

◆また、住民の方の安心・安全を守るために法人では新型コロナウイルスワクチン接種についても積極的に取り組んでまいりました。この間約6,500回のワクチン接種を行ってまいりました。引き続き入院患者さん、入所者さん、ご家族の安心を守るために、感染対策に努めてまいります。

医療法人社団 帰厚堂	■南昌病院	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-5211	FAX 019-697-5215
	■介護老人保健施設 敬愛荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-181	TEL 019-697-3288	FAX 019-697-0641
	■小規模多機能型居宅介護事業所 恒和荘	〒020-0805 盛岡市東新庄1丁目7-23	TEL 019-681-4166	FAX 019-604-1120
	■グループホーム 若園荘	〒020-0886 盛岡市若園町8-11	TEL 019-601-5501	FAX 019-604-1660
	■ケアセンター南昌	〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵工新田5-335	TEL 019-698-2015	FAX 019-611-2071
	◆こずかた診療所		TEL 019-698-3033	FAX //
	○訪問リハビリテーションこずかた		TEL 019-611-1380	FAX //
	◆介護老人保健施設 博愛荘		TEL 019-698-2015	FAX //
	◆博愛荘デイケアセンター		TEL 019-697-1526	FAX //
	◆デイサービスつむぎ		TEL 019-698-2015	FAX //
	◆訪問看護ステーションやはば		TEL 019-698-1388	FAX //
	◆ヘルパーステーションやはば		TEL 019-698-1385	FAX //
社会福祉法人 敬愛会	◆訪問入浴介護やはば		TEL 019-698-1385	FAX //
	◆ショートステイやはば		TEL 019-698-2015	FAX //
	◆グループホーム 敬寿荘		TEL 019-697-9002	FAX //
	▲こずかたこども園		TEL 019-698-3008	FAX 019-611-0221
	▲矢巾町地域包括支援センター		TEL 019-611-2855	FAX 019-611-2937
	●特別養護老人ホーム 志和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-100	TEL 019-697-6355	FAX 019-697-6356
	●地域密着型介護老人福祉施設 悠和荘	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-698-1661	FAX 019-698-1671
	●短期入所生活介護事業所	〒028-3621 紫波郡矢巾町広宮沢1-2-312	TEL 019-698-1661	FAX 019-698-1671
	●こずかたケアプランセンター	〒028-3614 紫波郡矢巾町又兵工新田5-335	TEL 019-613-7603	FAX 019-613-7604
	●矢巾町地域包括支援センター			
さわやかハウス相談室	〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅14-78	TEL 019-697-5570	FAX 019-697-5570	

※ケアセンター南昌代表電話